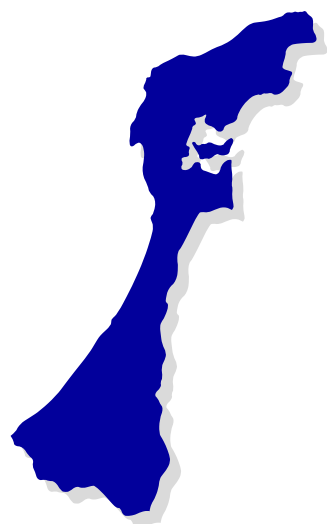




平成30年度 事業概要



夢職人～石川の礎を築く～



国土交通省 北陸地方整備局

金沢 河川国道事務所

地域づくりの目標

北陸地方は、厳しい自然条件と向き合い、この地で培われた独自の技術・文化とともに、安全で安心な地域を形成し発展してきました。この安全で安心な魅力ある居住環境をさらに充実させて、住む人々の満足感を高め、優れた環境を国内外に発信することによって、多くの人々を北陸地方にひきつけ、交流人口や経済交流の拡大に繋げるとともに、それぞれの地域が持つ資源を活かし、新たな交流機会を地域づくりの推進力として魅力ある地域づくりに取り組み、その個性ある地域が連携した北陸地方を目指します。

目次

地域づくりの目標	2
----------	---

安全・安心

改修により治水安全度が向上した梯川	4
荒ぶる川を治める―手取川の改修	5
安心して暮らせる地域を目指して―梯川の改修―	5
土砂災害から流域を守る―白山砂防・地すべり対策―	6
海岸侵食から国土を守る―石川海岸―	7
維持管理	8
長寿橋梁の本格的な補修	9
日々の生活を支える道路管理	10
大雨が降っても…	11
大雪が降ったら…	12
TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）	13

活力・成長力

地域の交流・連携の基盤づくり	14
能登と三大都市圏（東京・大阪・名古屋）を結ぶ	15
能登、金沢、加賀地域の混雑緩和と災害に強い道づくり	16

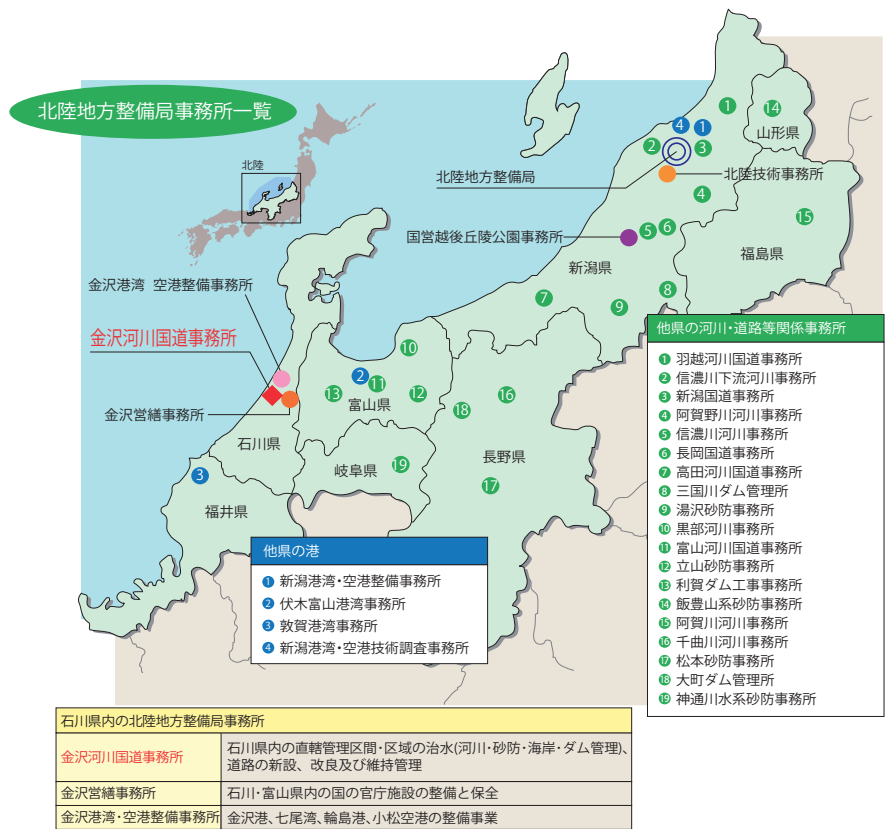
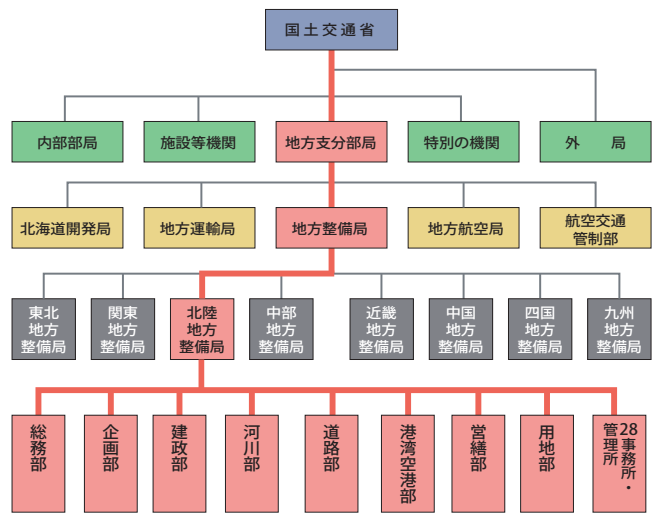
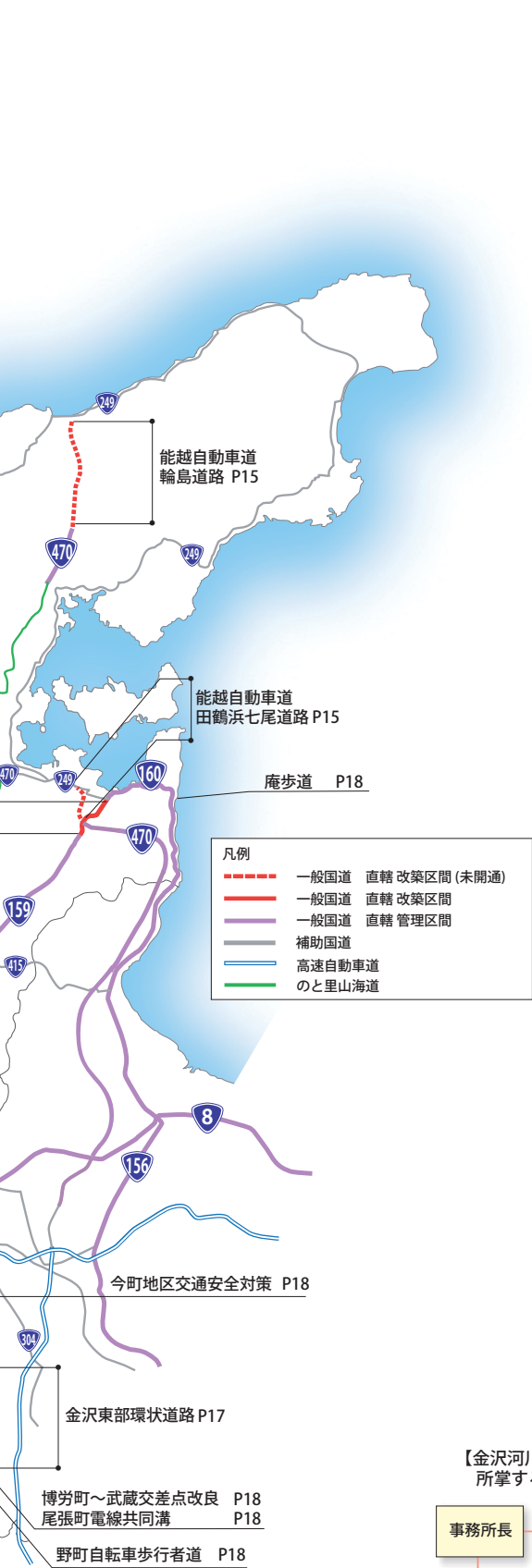
暮らし・環境

安全・安心な道路をめざして―交通安全対策・無電柱化―	18
「道の駅」	19
自転車利用環境の整備	19
水辺環境づくり	20
新たなインフラツーリズム（梯川分水路）	20
VSP（ボランティア・サポート・プログラム）	21
事業協力団体（河川・海岸・道路）	21
現場見学会	21
白山砂防女性特派員	21

データベース

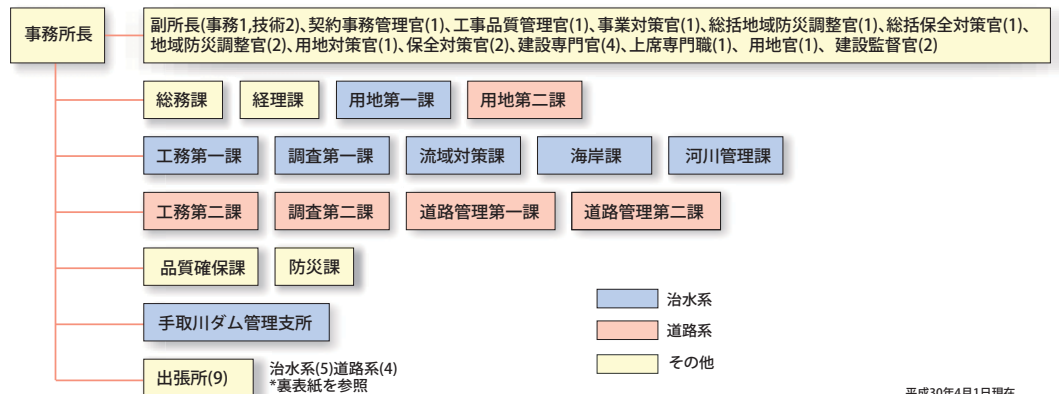
略史	22
金沢河川国道事務所管理及び整備区間一覧	23





【金沢河川国道事務所の組織】

所掌する各事業に的確に対応するため、15課、1支所、9出張所体制で業務を執行しています。



平成30年4月1日現在

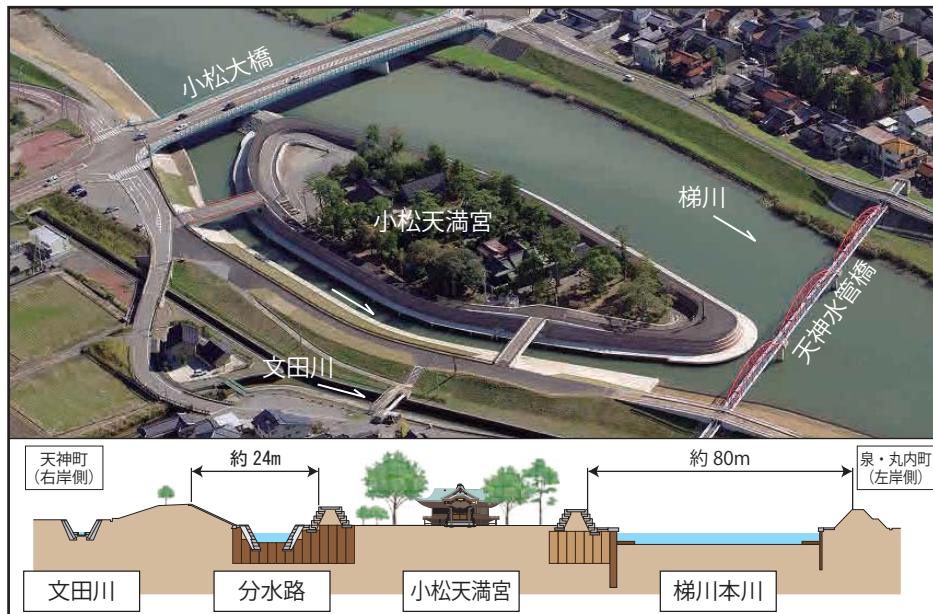
安全・安心

改修により治水安全度が向上した梯川

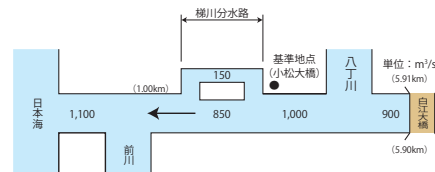
梯川分水路が完成 ～ 計画策定から21年を経て～

梯川河川改修の一環で整備してきました天神町地区の分水路方式による改修事業が、計画策定から21年を経て、平成29年11月に完成しました。

梯川分水路が完成したことにより、治水安全度が向上し、洪水時に効果が発揮されました。



梯川河川改修の一環で整備してきました改修事業が完成しました



計画高水流量図

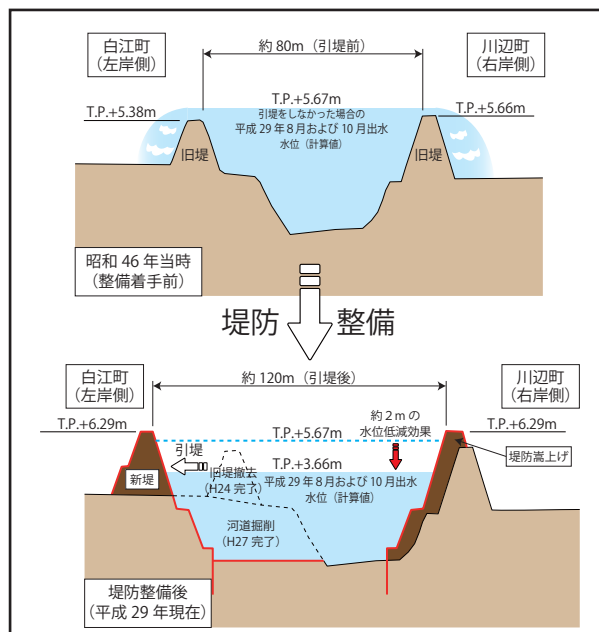


平成29年8月8日出水時状況

梯川分水路の完成により、出水時に効果が発揮されました

梯川 河川整備事業による効果

梯川では、昭和46年から川幅を約1.5倍に広げる引堤及び河道掘削を行ってきました。平成29年8月及び10月出水では、河口から5.4km地点（小松市白江地区）で上流側の赤瀬ダム（石川県管理、昭和53年完成）の効果と合わせて約2.0mの水位低減が図れました。仮に、引堤や河道掘削等の河川整備を行っていなければ、堤防が決壊し、甚大な被害が発生していた可能性があります。



河川整備が進んだことにより、安全に洪水を流すことができました
(平成29年8月および平成29年10月出水時の河川整備効果)



←上流側（鍋谷川合流点付近）では河川改修が進んでいないため、8月および10月の出水においても危険な状態でした。
(平成29年8月8日出水)

荒ぶる川を治める ―手取川の改修―

平成30年度の事業計画

手取川の改修事業は、白山市湊地区の流下能力向上のため、川に堆積した土砂の掘削を実施しているほか、川北町舟場島地区の既設堤防の川側に腹付盛土を行い、洪水時における堤防の質的強化(急流河川対策)を実施します。



河道掘削による洪水時の通水能力向上

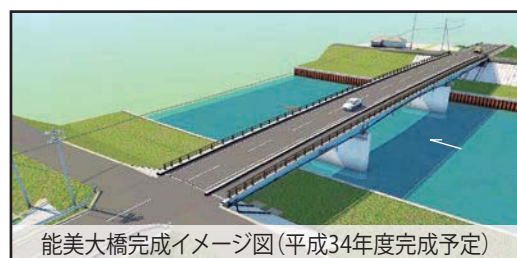
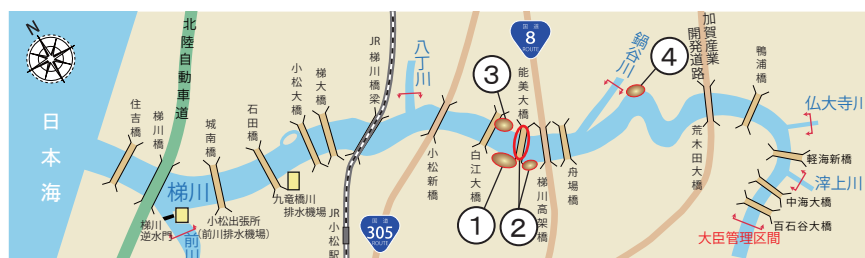


急流河川特有の洪水エネルギーに対して堤防の質的向上

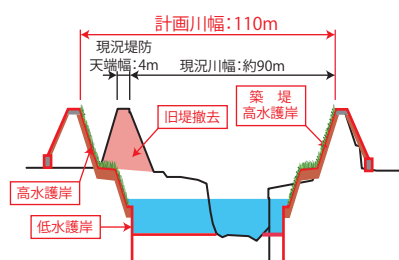
安心して暮らせる地域を目指して ―梯川の改修―

平成30年度の事業計画

白江大橋より上流において、現在の川幅を広げるための築堤工事や高水護岸工事、旧堤撤去工事などを行い、治水安全度向上のため、事業の推進を図ります。また河道拡幅に伴い、能美大橋の架替え工事も着手します。



能美大橋完成イメージ図(平成34年度完成予定)



堤防の引堤イメージ図(白江大橋～舟場橋)



平成30年度に取り組む事業箇所(梯川)

海岸侵食から国土を守る ―石川海岸―

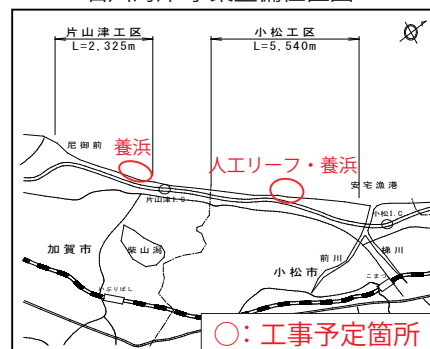
平成 30 年度の事業

石川海岸整備事業は、海岸侵食や風浪による越波災害を防止するため、沖合施設の整備と砂浜の回復事業の推進を図ります。

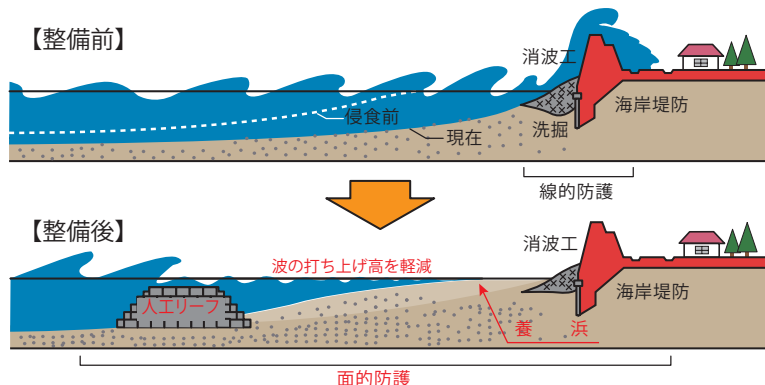
小松工区の整備

小松工区安宅新町地先において、優れた消波効果や従来の人工リーフよりもコスト縮減を図った新型人工リーフを設置するとともに、養浜工事を実施します。これにより、高波浪時における波の打ち上げ高を軽減させ、砂浜の侵食防止を図ります。

石川海岸 事業整備位置図



人工リーフと養浜イメージ図



【人工リーフ】

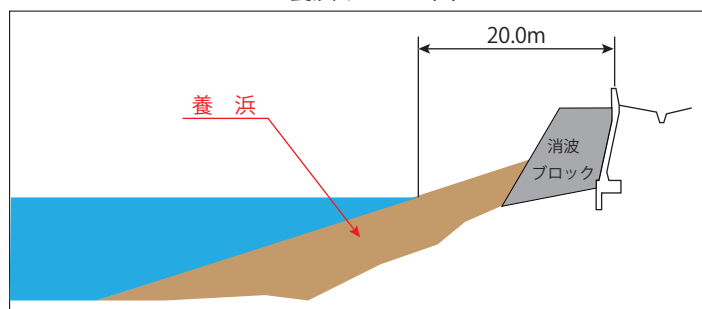
波は水深が浅くなると砕けてその勢いを失うことから、コンクリートブロック等で人工的に浅瀬をつくる沖合施設です。構造物が水面に没しているため、景観を損ないません。

片山津工区の整備

片山津工区篠原町地先では、沖合の岩礁域を利用した漁業が盛んなことや越前海岸国定公園内に位置するため、景観と利用に配慮した養浜工事の推進を図ります。



養浜イメージ図



【養 浜】

侵食された海岸線に砂等を投入して浜を造成し、堤防の越波防止を図ります。砂等の投入に際しては、沖合の養浜材が再流出するのを防ぐため、粒径の大きいレキ材を使用します。

維持管理

治水・利水のかなめ―手取川ダム―

手取川ダムは、手取川総合開発の主核の事業として手取川河口から約40km上流にある日本でも最大級の「ロックフィルダム」です。

おもな役割は、治水のための「洪水調節」と利水のための「都市用水（水道・工業）の確保」、「発電」です。



石川県民の暮らしを支える“水がめ”

利水

手取川ダムの水は、金沢市を中心に北は七尾市能登島から南は加賀市まで9市4町、県内人口の約9割に水道水として供給されています。

また、水の落差と水量を有効に利用し、電気を作る水力発電を行っています。年間発電量は、すべての発電所を合わせ、約20,000世帯分相当を発電しています。

大切なダムの役割を守るために

地域にとって大切な役割を持つ手取川ダムですが、いざという時にこの役割を果たせないと大変です。

このため、普段からしっかりと、メンテナンスや管理を行っています。



取水施設の定期点検

下流域を水害から守る 治水

大雨の時には手取川ダムで一時的に水を溜めることで下流域への洪水量を減らす調整を行い、下流域での水害の軽減に努めています。

日常から河川管理施設の点検をしています

大雨の時に、河川堤防が決壊したり、樋管などのゲートが閉まらないと大変です。

このため、普段から河川巡視や河川施設の点検等を行い、いざという時に機能するように努めています



許可工作物の定期検査



職員・委託巡視員による河川巡視

長寿命化への取組み 道路

道路を安全に利用し続けるために、橋梁やトンネル等の道路構造物については、『点検⇒診断⇒措置⇒記録』というメンテナンスサイクルに基づく適切な維持管理を実施していきます。



長寿橋梁の本格的な補修

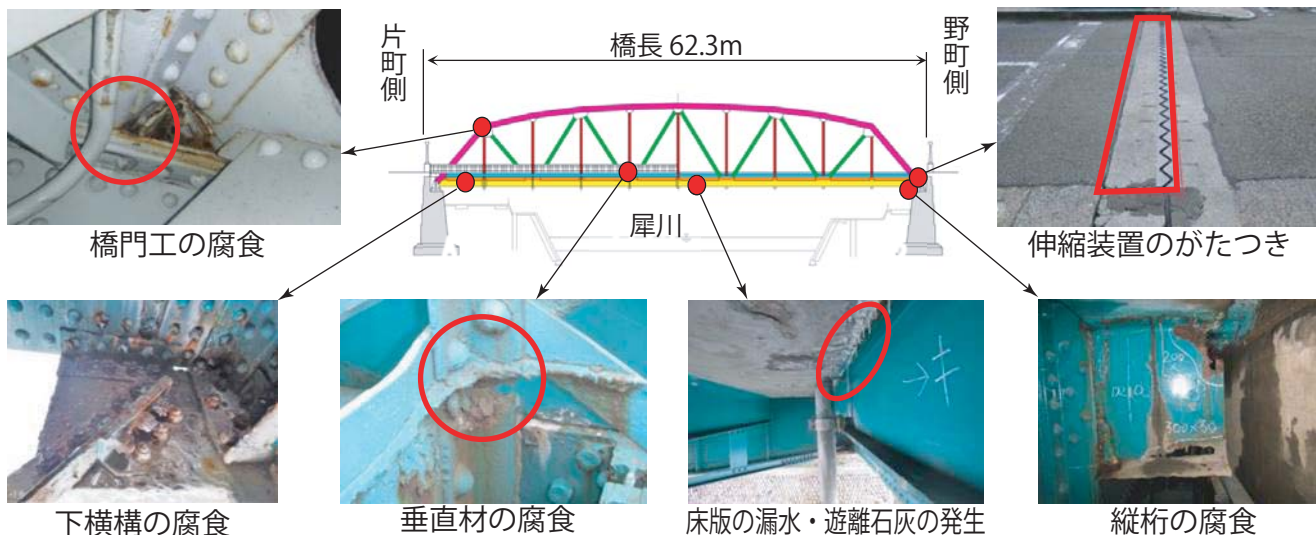
国道157号 犀川大橋補修工事

犀川大橋は、建設後93年が経過し、これまで金沢市内の大動脈として地域の生活を支えてきました。

平成28年度に実施した点検において、橋桁で使用している鋼材や伸縮装置等で損傷が確認され、早急な補修が必要となったことから、今後も安心して利用して頂くために、平成29年11月から本格的な補修工事に着手しています。



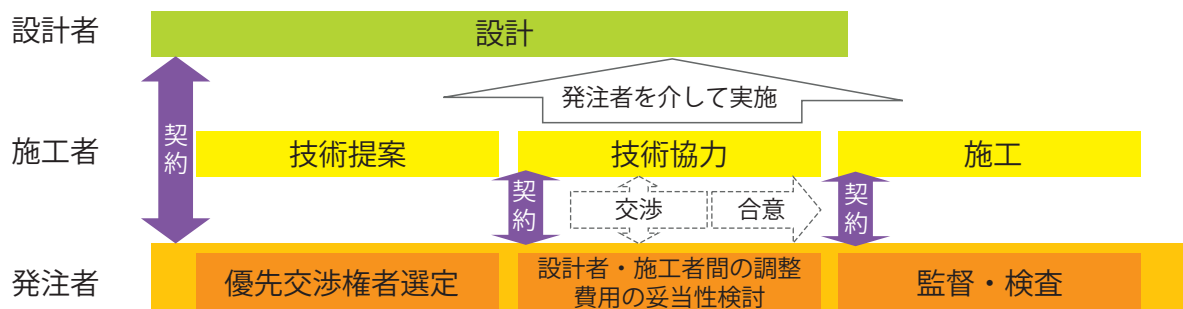
平成28年度点検で確認された主な損傷



全国で初めて橋梁補修工事にECI導入

補修にあたり、交通規制や周辺地域への配慮など多くの制約条件や、複雑なトラス構造のため定期点検では状況を詳細に確認できない等、工事発注前に仕様を確定することが困難な状況にありました。

このため、橋梁補修工事では全国で初となる、設計段階から施工者が関与する入札方式であるECI（アーリー・コントラクター・イノベーション）方式の一種である「技術提案・交渉方式（技術協力・施工タイプ）」を導入しました。



日々の生活を支える道路管理

道路の維持管理計画(案)

道路を維持管理する上で必要なパトロール（落下物の処理や道路の異常の早期発見、補修等を実施）、清掃、除草、剪定等の作業は、「金沢河川国道事務所道路の維持管理計画（案）」に沿って計画的に行っております。

作業内容	作業頻度
パトロール	・原則 2日に1回
路面清掃	・原則 年間6回以内（人口集中地区内） ・原則 年間1回以内（上記以外）
歩道清掃	・原則 落葉等の除去に限定して実施
排水構造物清掃	・原則 年間1回を目安
除草	・原則 年間1回を目安
剪定	・高木、中低木原則3年に1回程度 ・寄植 原則1年に1回程度



パトロールで発見した
落下物の回収



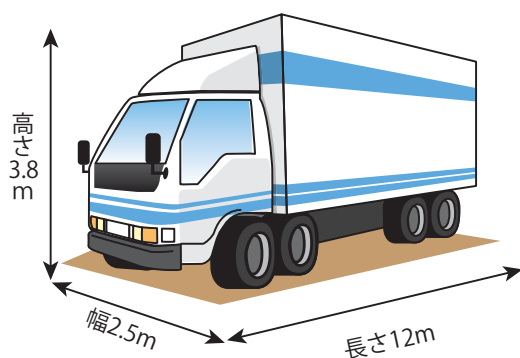
路面清掃車による清掃

道路管理者の承認が必要な工事

- ・自動車乗り入れのために行う歩道の切り下げ工事。
- ・宅地造成等に伴う道路の法面の切り取り、埋め立て工事及び出入路の工事。
- ・都市計画、又は土地区画整理法等に基づく道路の拡幅、取付工事。

特殊車両

- ・車両制限令に規定されている大きさや重さを1つでも超える車両を「特殊車両」といいます。
- ・特殊車両の通行には、道路管理者の通行許可を受けなければなりません。



総重量 20t (25t※)

※高速自動車道、指定道路においては、軸距の長さに応じ最大25.0 t

道路占用

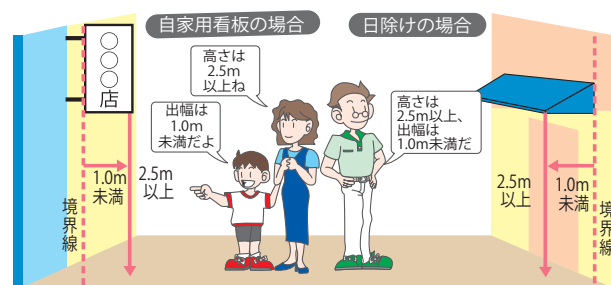
道路は国民の共有財産です。道路上（上空含む）を特定の人が継続し使用する場合は申請し許可を受ける必要があります。また、物件によってはお金がかかる物もあります。土地を借りた場合の借地料と同じです。

●許可できない物の一例

立看板、広告板、商品置き場、のぼり旗、はり紙等

●許可できる物の一例

突出看板、日よけ、投光器、工事用足場等



道路緊急ダイヤル（#9910）

- ・道路緊急ダイヤル（#9910）は、全国共通24時間受付無料です。
- ・道路利用者が幹線道路の異状等を発見した場合に直接道路管理者に緊急通報し、それを受けた道路管理者は迅速に道路の異状への対応を図ることによって、安全を確保します。
- ・緊急通報の対象となる道路の異状
道路の穴ぼこ、路肩の崩壊等の道路損傷、落下物や路面の汚れ等

大雨が降っても…

水防災意識社会 再構築ビジョン

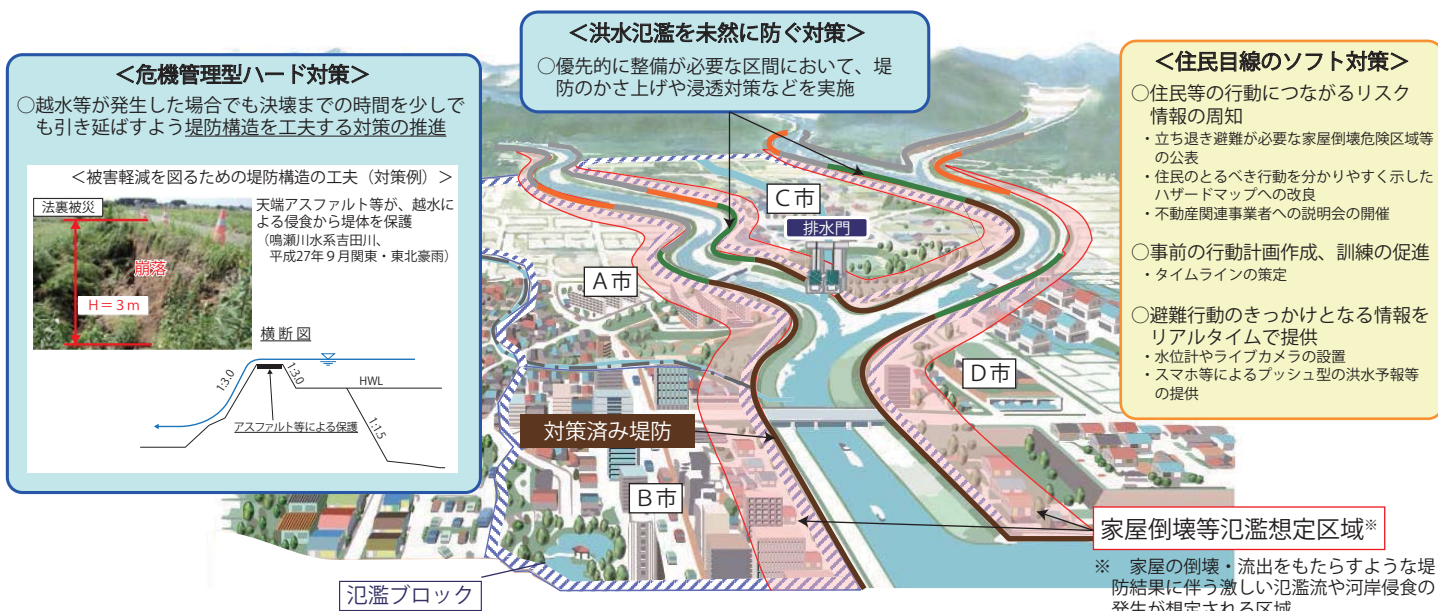
関東・東北豪雨（平成27年台風18号災害）を踏まえ、施設では守りきれない大洪水が必ず発生するとの考えに立ち、河川管理者・県・市町等からなる協議会等において、地域減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に取り組みます。

<ハード対策>

「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」に加え、氾濫が発生した場合にも被害を軽減する「危機管理型ハード対策」を導入し、平成32年度を目途に実施。

<ソフト対策>

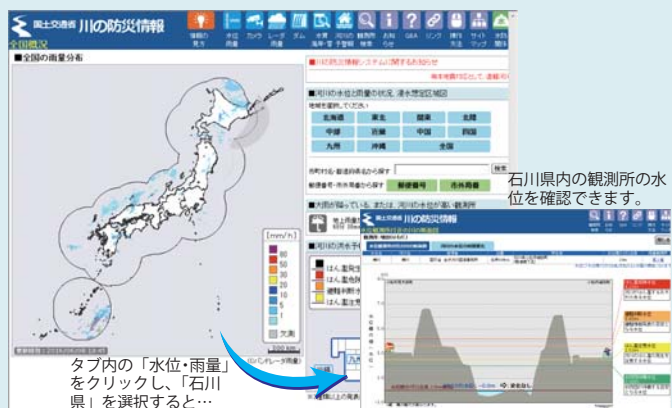
住民が自らリスクを察知し主体的に避難できるよう、より実効性のある「住民目線のソフト対策」へ転換。



情報ネットワークの利用による取り組み

当事務所では、国管理河川（手取川・梯川）の関係自治体との専用光ケーブルを利用して、河川映像を提供しています。

河川の映像や雨の降り方等、事務所のホームページ（<http://www.river.go.jp/kawabou/ipTopGaikyo-do>）より閲覧することができます。



災害対策用機械

洪水のときには、当事務所で保有している災害対策用機械を災害現場に送り、早期の復旧を支援します。



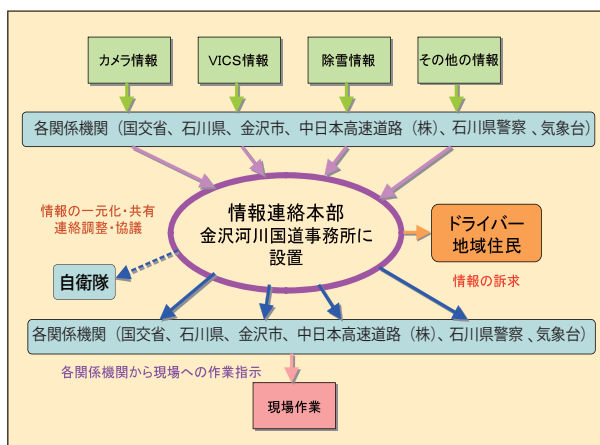
排水作業を行っている排水ポンプ車

大雪が降ったら…

関係機関との連携「情報連絡本部」

大雪警報の発令や異常降雪が予想される時には関係機関（国、県、警察等）が集まり「情報連絡本部」を開設します。

各機関が持つ情報を一元化・共有することで除雪作業等の連絡調整、ドライバーへの迅速な情報提供を行います。



平成30年大雪状況写真



情報連絡本部開設(平成30年2月5日)

ホームページによる情報共有「みちなび石川」

冬季の道路情報（ライブ画像）はホームページ「みちなび石川」で情報提供をしています。他の道路管理者及び関係機関とのリンクを行っています。



「みちなび石川」

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/douro/michinavi/>

スマートフォンでも見やすくなりました。



お持ちの携帯電話で右記の二次元コードから「みちなび石川」を見ることができます。



ツイッターによる情報提供

ツイッターで金沢河川国道事務所管内の道路状況について情報提供しています。

「道路情報室@金沢河川国道」 <https://twitter.com/KanazawaBousai>

除雪用機械

国が管理する国道5路線 約201km[※] に除雪車87台を配備。常時2車線以上の確保を目指し、国道の除雪にあたります。

※国道8号・157号・159号・160号・470号の5路線。

なお、国道157号は金沢市青草町～白山市白山町まで、国道470号は 能越自動車道のと里山空港IC～穴水IC、七尾IC～富山県境区間



除雪グレーダー



凍結防止剤散布車

TEC-FORCE ※ (緊急災害対策派遣隊) ※Technical Emergency Control Force : テックフォース

- 地震・水害・土砂災害等から国民の生命と財産を守ることが国の基本的責務
- 地球温暖化等による災害リスクの増大に対し、人員・機材の派遣体制等の充実を図り、危機管理体制を強化

- 全国の職員等が国土交通省の総合調整により活動
- 国が主体的に緊急調査を実施
- 地方公共団体と連携して必要な緊急応急対策を実施

被災状況の迅速な把握

社会基盤施設の早期復旧

二次災害の防止

その他災害応急対策

- ◆ 先遣班
- ◆ 被災自治体支援班 (リエゾン)
- ◆ 現地活動調整班
- ◆ 情報通信班
- ◆ 高度技術指導班
- ◆ 被災状況調査班 (ヘリ調査)
- ◆ 被災状況調査班 (現地調査)
- ◆ 応急対策班

活動状況

平成 28 年 4 月に熊本県で発生した地震災害及び、平成 28 年 9 月に岩手県で発生した豪雨災害に対する被災状況調査として TEC-FORCE 隊員を派遣しました。



平成 28 年 4 月 28 日～5 月 5 日 (8 日間)
熊本県で地震災害の調査にあたる TEC-FORCE 隊員



平成 28 年 4 月 28 日～5 月 5 日 (8 日間)
緊急調査による被災状況を地元首長に報告
(場所：熊本県 阿蘇市役所)



平成 28 年 9 月 8 日～14 日 (7 日間)
岩手県で台風 10 号による被災箇所の調査にあたる TEC-FORCE 隊員

バイク調査隊

災害発生時に道路の被害や渋滞等により、パトロールカー等による円滑な通行が確保できない時、徒歩や自転車では迅速な被害調査が困難な場合の移動手段として、バイクを利用し、被害調査を実施します。

(平成 16 年 10 月の「新潟県中越地震」を教訓に「バイク調査隊」を発足)



バイク隊訓練

活力・成長力

地域の交流・連携の基盤づくり

石川県では、広域幹線道路整備の基本方針として「ダブルラダー輝きの美知」構想が策定されています。

当事務所では、この構想を後押しするため、国民・県民生活の安全安心の確保、真に必要な社会資本の着実な実施、持続可能で活力のある国土・地域づくり等、当面する課題に対応する事業に重点を置きながら推進していきます。

●「ダブルラダー輝きの美知」整備構想

凡例	
	概成区間(暫定2車線を含む)
	計画区間
	追加IC(整備中)
	高規格幹線道路との結節点



「石川県新長期構想(平成28年2月)」より

能登と三大都市圏（東京・大阪・名古屋）を結ぶ

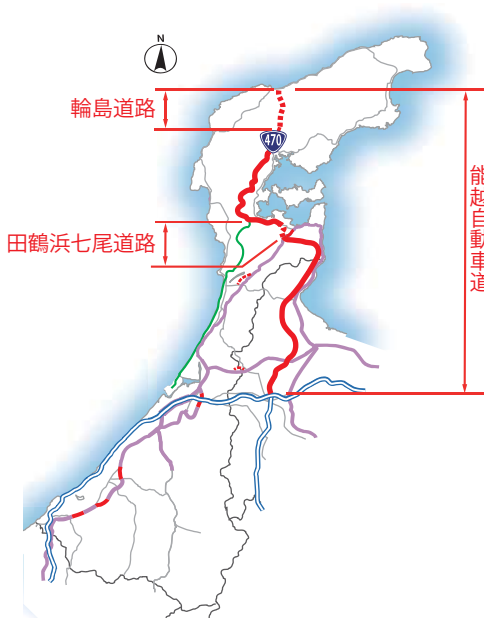
国道470号 能越自動車道

能越自動車道は、石川県輪島市を起点に同県七尾市を経由し、富山県砺波市に至る、延長 117km の高規格幹線道路であり、能登半島へのアクセス向上や、災害に強い安全で信頼性の高い道路ネットワークを形成することで、物流の活性化や観光圏域の拡大や、沿道地域の連携強化を支援します。

輪島道路

輪島市杉平町の輪島 IC（仮称）から同市三井町洲衛ののと里山空港 IC に至る、延長 11.5km の事業です。

平成 30 年度は、輪島 IC（仮称）～三井 IC（仮称）間で、道路設計、用地買収及び改良工事を推進し、トンネル工事に着手します。三井 IC（仮称）～のりと里山空港 IC 間では、埋蔵文化財調査、改良工事及び橋梁工事を推進します。



生産性革命プロジェクト

- ・高齢化等の労働力不足に向けて、土工について、測量・施工・検査等の全プロセスで ICT を活用し、大幅な生産性の向上を図るため、H28 年度から ICT の活用を推進しています。
- ・生産性の約 5 割向上を目指すとともに、「賃金水準の向上」「安定した休暇の取得」「安全な職場」「女性や高齢者等の活躍」等、建設現場の働き方革命を実現します。



輪島道路の土工でも ICT を活用

田鶴浜七尾道路

七尾市赤浦町の病院西 IC（仮称）から同市千野町の七尾 IC に至る、延長 3.4km の事業です。

平成 30 年度は、道路設計、地質調査、用地調査を推進し、用地買収に着手します。



能登、金沢、加賀地域の混雑緩和と災害に強い道づくり

国道159号 七尾バイパス

交通混雑の緩和、交通事故の低減、能越自動車道へのアクセス向上を目的とした事業です。

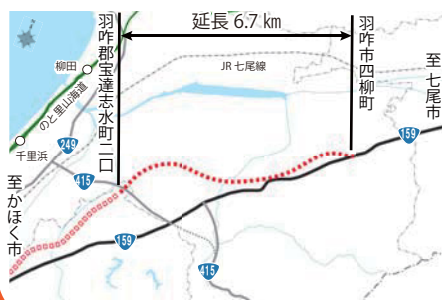
平成30年度は七尾市川原町～同市古府町間の道路設計を推進します。



国道159号 羽咋道路

渋滞・事故の低減及びのと里山海道へのアクセス向上を目的としたバイパス事業です。

平成30年度は羽咋市四柳町～同市四町間の用地買収を推進し、用地調査、道路設計、埋蔵文化財調査、盛土工事等を推進します。



国道8号 加賀拡幅

交通混雑の緩和と主要幹線道路のネットワーク強化を目的とした現道拡幅事業です。

平成30年度は加賀市松山町～同市加茂町間の埋蔵文化財調査、改良工事及び橋梁工事を推進します。





国道8号 倶利伽羅防災

国道 8 号の事前通行規制区間の回避及びトンネルの幅員狭小による事故危険区間の解消を目的とした道路整備事業です。

平成 30 年度は測量、地質調査、道路設計を推進します。



国道159号 金沢東部環状道路

地域高規格道路金沢外環状道路の一部を構成し、金沢市中心部の交通混雑の緩和、北陸自動車道やのと里山海道と連携する広域的な道路ネットワークの形成を目的とした事業です。

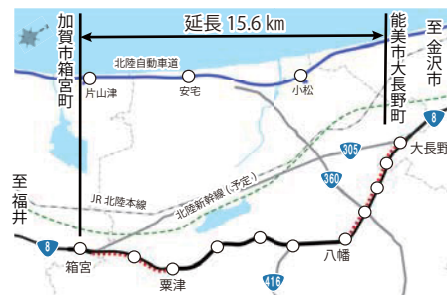
平成 30 年度は金沢森本 IC～神谷内間の改築工事及びトンネル工事を推進します。



国道8号 小松バイパス

交通混雑の緩和、交通事故の低減を図るバイパス 4 車線化事業です。

平成 30 年度は大長野 IC～八幡 IC 間で橋梁工事を推進します。



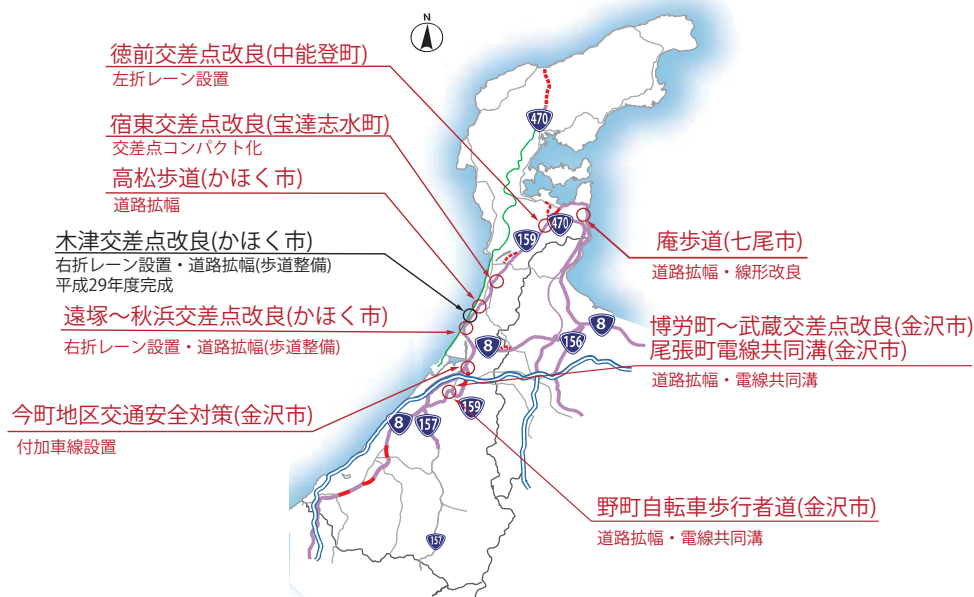
- 事業箇所
- 直轄国道
- 補助国道
- 北陸自動車道
- のと里山海道

暮らし・環境

安全・安心な道路をめざして ―交通安全対策・無電柱化―

交通安全対策

歩道整備、交差点改良及び道路標識、路面標示、道路照明、防護柵等の交通安全施設の整備により、安全・安心な道路交通環境の形成、事故防止対策を実施しています。



整備前



整備後

国道159号木津交差点改良事業
右折レーン設置・道路拡幅(歩道整備)

無電柱化（電線共同溝）

無電柱化は、道路の地下空間を活用して、電力線や通信線などをまとめて収容する電線共同溝等の整備による電線類地中化や、表通りから見えないように配線する裏配線等により道路から電柱をなくすことです。

下記の3つの観点から推進しています。

「安全・快適」・・・無電柱化により歩道の有効幅員を広げることで、通行空間の安全性・快適性を確保

「防災」・・・・・・・大規模災害（地震、竜巻、台風等）が起きた際に、電柱等が倒壊することによる道路の寸断を防止

「景観・観光」・・・景観の阻害要因となる電柱・電線をなくし、良好な景観を形成



電線共同溝整備完了箇所
(金沢市橋場町)

交通安全の確保に向けた取組

■生活道路の交通安全対策

地域ニーズや、ビックデータ等に基づき抽出したエリアにおいて、国、自治体、地域住民等が連携し、徹底した通過交通の排除や車両速度の抑制等のゾーン対策に取り組み、子供や高齢者等が安心して通行できる道路空間の確保を目指します。



生活道路対策メニュー

■通学路の交通安全対策

定期的な合同点検の実施や対策の改善・充実等の継続的な取組を支援し、警察、教育委員会、学校、道路管理者等が連携し、ハード・ソフトの両面から必要な対策を推進しています。



通学路安全推進協議会



通学路合同点検

「道の駅」



「道の駅」は、安全で快適に道路を利用するための道路交通環境の提供と、地域のにぎわい創出を目的とした施設で、「地域とともに作る個性豊かなにぎわいの場」を基本コンセプトにしています。

駅ごとに地方の特色や個性を表現し、文化などの情報発信や様々なイベントを開催することで利用者が楽しめるサービスも提供しています。

石川県内では26駅が登録されています。



輪島（平成29年11月22日特定テーマ型モデル「道の駅」（地域交通拠点部門）に認定）



のと千里浜（平成29年7月7日オープン）



めぐみ白山（平成30年4月27日オープン）

「道の駅」3つの機能

Refresh 休憩機能

24時間無料で利用できる駐車場、トイレ等

Information 情報発信機能

道路情報、観光情報、緊急医療情報等

Community 地域の連携機能

文化教養施設、観光レクリエーション施設等の地域振興施設で地域と交流を図る

自転車利用環境の整備

金沢自転車ネットワーク協議会

有識者、道路管理者、警察により構成され、面的に連続した自転車利用環境の整備により、歩行者・自転車・自動車のそれぞれが、安全に安心して通行できる道路空間の創出を目指します。



●自転車走行指導帯の設置
(国道159号)

●協議会の開催（事務局窓口）



●自転車走行指導帯の設置
(国道359号)



●自転車走行指導帯の設置
(県道窪野々市線)

国土交通省

石川県

金沢市

石川県警察

連携



●自転車走行指導帯の設置
(せせらぎ通り)

●金沢レンタサイクル「まちのり」
(まちなか公共レンタサイクル)



●高校生フォーラム



●子ども自転車大会

水辺環境づくり

河川の水辺環境調査

国土交通省では、河川の環境を調査する目的で、毎年「河川水辺の国勢調査」を実施しています。また、川にすむ生き物を採取し、その種類を調べることによって、水質を判定する水生生物調査をしています。

調査の結果、手取川・梯川では多くの種類の動植物が生息する良好な河川環境であることが分かりました。



陸上昆虫類調査の様子



児童と一緒に水生生物調査をしています

多自然川づくり

手取川・梯川では、生物の良好な生息環境や美しい自然景観に配慮した川づくりに取り組んでいます。



多自然川づくりのイメージ図（梯川）



整備直後：護岸の上に土砂等を被覆



現況：植生が復元し、自然環境が回復

新たなインフラツールズム（梯川分水路）

梯川分水路は、洪水を安全に流すことと国の重要文化財である小松天満宮神門および本殿を現位置に保存するために、全国でも珍しい「分水路方式」を採用した河川改修です。浮島となった小松天満宮は地域のシンボルとなっています。

また、梯川分水路には、ダムカードならぬ「分水路カード」もあります。カードの入手方法は、浮島にある小さな看板内の動画（二次元コードから視聴）を見ていただくと確認できます。



梯川分水路カード

お持ちの携帯電話で右記の二次元コードから「梯川分水路の動画」を見ることができます。
※この動画は分水路カード提供動画ではありません。

梯川分水路の概要
(約2分50秒)



梯川分水路について
(約1分20秒)



小松市民の憩いの水辺

梯川の河口から約7kmの鍋谷川までは勾配が緩く、川の流れが穏やかなため、レガッタやカヌーなど水面利用が盛んです。毎年8月の第一日曜日に小松市民レガッタ大会が開催され、多くの小松市民が梯川の水辺を利用します。

また、梯川の堤防上にはウォーキングスチール（河口からの距離を示した目印）が設置されており、田園や霊峰白山を眺めながらのウォーキングやジョギングに最適です。



7箇所（★印）に説明看板を設けました。各看板には、分水路に関する説明や梯川の内容などを動画にて説明しています。

VSP（ボランティア・サポート・プログラム）

道路の美化清掃等に取り組む地域団体や企業を支援しています。

当事務所では、平成 30 年 4 月現在、38 団体が登録し、歩道清掃・植樹帯の管理・歩道除雪等を行っています。また、そのうち 29 団体がボランティア・サポート・プログラム（VSP）を利用し、団体・国・市の三者間で協定を締結して活動しています。



国道沿線で花を植える活動団体のみなさん

事業協力団体（河川・海岸・道路）

国土交通行政における身近な課題の解消や各利用者のニーズへのきめ細やかな対応等の業務に自発的に取り組む団体を募集し、指定を行っています。

道路事業においては、道路空間を活用したオープンカフェ等の収益活動が可能で、その収益で道路の花植やベンチの設置等の管理を行うことで、地域のにぎわいや道路管理が充実します。

当事務所で平成 30 年 4 月現在、河川 1 団体、海岸 1 団体、道路 1 団体の計 3 団体が指定されています。



道路協力団体の活動



海岸協力団体の活動

現場見学会

将来にわたる社会資本整備や維持管理、冬期の除雪を含む災害時の対応等を担う地域の担い手の確保・育成及び建設業の魅力の発信を目的に、工事現場の見学会を積極的に開催しています。



輪島道路現場見学会



ICT 活用工事現場見学会（手取川）

白山砂防女性特派員

白山は豊かな自然を有しています。

しかしその反面、土砂災害発生の危険もあるため、県民のみなさんに白山下流域を守る砂防の必要性を学習し、情報発信していただくことを目的として、参加者を募り活動を行っています。



白山砂防女性特派員 HP

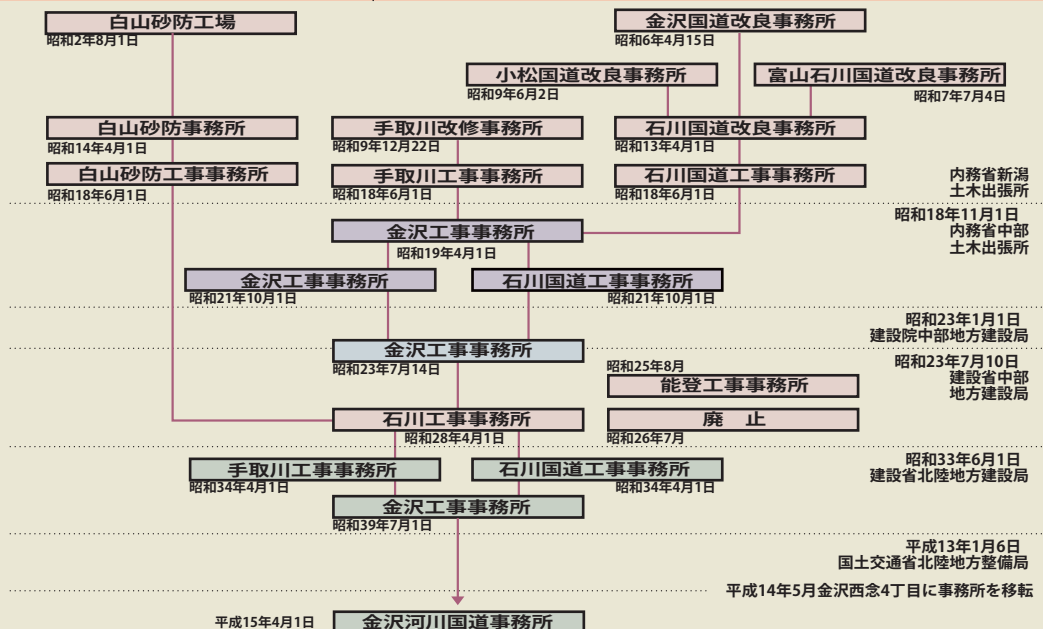


現場視察（赤岩 2 号砂防堰堤）

データベース

年度	略 史	年度	略 史
昭和39年度	8号一次改築全線完了	平成8年度	金沢バイパス田中交差点(海側)立体化完成
昭和40年度	手取川支派川安産川樋管完成	平成9年度	小松バイパス部分開通(延長1.3km、小松市佐々木町～同市八幡)
昭和43年度	8号金沢バイパス、石川郡野々市町三田市～松任市宮丸開通	平成10年度	津幡北バイパス部分開通(延長1.7km、津幡町倉見～同町庄)
昭和46年度	手取川水衛部護岸ほぼ完了 金石高架橋供用開始	平成11年度	フォルテ地下道(太平寺地下道)供用／小松除雪ステーション供用 歴史国道「俱利伽羅源平の郷・竹橋口」開所
昭和47年度	金沢バイパス全線開通(暫定2車線)	平成12年度	前川排水機場完成
昭和48年度	金沢バイパス松任地区4車線概成	平成13年度	白山砂防科学館開館／鹿島バイパス全線開通 金沢東部環状道路部分開通(延長1.3km、金沢市今町～同市梅田町) むさしクロスピア改修完成
昭和50年度	金沢バイパス4車線概成／宇ノ気道路4車線完成 白峰バイパス完成	平成14年度	松任～寺井間4車線化・小松バイパス全線開通／石田橋完成 金沢東部環状道路部分開通(延長2.4km、金沢市東長江町～同市鈴見台)
昭和51年度	手取川大橋2車線完成／美川水門完成	平成15年度	月浦白尾I.C連絡道路・津幡バイパス全線開通 金沢東部環状道路部分開通(延長2.1km、金沢市梅田町～同市月浦町)
昭和52年度	武蔵地下横断歩道完成	平成16年度	西念交差点立体化、諸江～南新保6車線化完成
昭和53年度	金沢西バイパス部分開通(手取川左岸まで) 津幡バイパス暫定供用開始／金沢バイパス4車線完成	平成17年度	津幡北バイパス部分開通(延長0.5km、津幡町加茂～舟橋)
昭和54年度	157号(権限代行)一次改築完了／手取川ダム完成	平成18年度	金沢東部環状道路全線開通／穴水道路全線開通 津幡北バイパス部分開通(延長1.7km、津幡町庄～加茂) 梯川手づくり学習館開設
昭和55年度	金沢西バイパス(能美郡根上町赤井～同町五間堂)、 鶴来バイパス(石川郡鶴来町井ノ口～同町明島町)開通	平成19年度	柳谷上流砂防堰堤群完成 尾添川第2号砂防堰堤完成 津幡北バイパス全線開通(延長1.9km、津幡町刈安～倉見)
昭和56年度	安産川排水機場完成 金沢西バイパス(能美郡根上町五間堂～小松市高堂)開通	平成20年度	示野町地区6車線化開通(延長1.3km、金沢市藤江町～示野町) 武蔵地区歩道拡幅(延長0.2km、金沢市青草町～下堤町) 犀川大橋補修完成
昭和57年度	金沢西バイパス全線開通(延長8.57km 2車線)	平成21年度	159号津幡バイパス4車線化開通(かほく市内日角～津幡町舟橋) 8号南郷拡幅完成(延長4.7km加賀市細坪町～熊坂町)
昭和58年度	鶴来バイパス部分開通(延長1.4km 2車線、石川郡鶴来町安養寺～同町知気寺) 鹿島バイパス部分開通(延長2.6km、鹿島郡鳥屋町黒氏～鹿島町小竹)	平成22年度	8号加賀拡幅部分開通(延長2.0km、加賀市箱宮町～松山町)
昭和59年度	押水バイパス部分開通(延長1.8km、押水町南吉田～同町上田出)	平成24年度	金沢東部環状道路4車線化部分開通(延長2.4km、金沢市東長江町～ ～同市鈴見台) 小松バイパス4車線化部分開通(延長2.2km、小松市八幡～同市東山町) 七尾氷見道路部分開通(延長9.3km、七尾市矢田町～同市大泊町)
昭和60年度	南郷拡幅部分開通(延長1.2km、加賀市南郷町～同市細坪町) 鹿島バイパス部分開通(延長5.0km、七尾市下町～鹿島郡鳥屋町黒氏)	平成25年度	瀬戸砂防堰堤(改築)完成 河内谷砂防堰堤(改築)完成
昭和61年度	小松バイパス部分開通(延長2.2km、小松市八幡～同市東山町) 鹿島バイパス部分開通(延長0.7km、七尾市八幡町～同市下町) 香林坊地下横断歩道完成	平成26年度	小松バイパス4車線化部分開通(延長5.1km、小松市東山町～同市津波倉町) 七尾氷見道路全線開通(延長3.2km、七尾市千野町～同市矢田町) (延長1.1km、七尾市大泊町～石川富山県境)
昭和62年度	津幡バイパス部分開通(延長1.7km) 二万堂拡幅(延長0.4km)開通 押水バイパス部分開通(延長1.5km、押水町上田出～同町坪山)	平成27年度	七尾バイパス部分開通(延長2.7km、七尾市古府町～同市下町) 8号加賀拡幅部分開通(延長1.9km、加賀市加茂町～同市黒瀬町)
昭和63年度	甚之助谷地すべり災害関連緊急事業竣工式 離岸堤100基完成／鶴来・鹿島バイパス部分開通(延長1.3km、 鹿島郡鹿島町小竹～同町久江)	平成28年度	8号加賀拡幅部分開通(延長0.3km、加賀市西島～加茂町) 桑島裏谷土石流対策施設完成
平成元年度	金沢西バイパス4車化部分開通(延長1.9km、能美郡川北町宇橋～ 南郷拡幅4車線化部分開通(延長1.2km、加賀市南郷町～同市細坪町) 同町朝日)	平成29年度	梯川分水路完成 金沢東部環状道路4車線化部分開通(延長1.8km、金沢市神谷内～ 同市東長江)
平成2年度	俱利伽羅・小松・押水バイパス等6ヶ所開通(延長15.8km)		
平成4年度	松島北交差点立体化(山側)開通 小松バイパス部分開通(延長3.7km、小松市津波倉町～加賀市箱宮町) 及び鶴来バイパス全線開通		
平成5年度	白江大橋完成／白鳥橋の架替供用		
平成6年度	梯大橋完成／犀川大橋補修完成		
平成7年度	金沢バイパス田中交差点(山側)・松島北交差点(海側)立体化部分開通 金沢バイパス松島北交差点(海側)立体化完成 鹿島バイパス部分開通(延長1.5km、鹿島郡鹿島町久江～同町高島)		

事務所の変遷

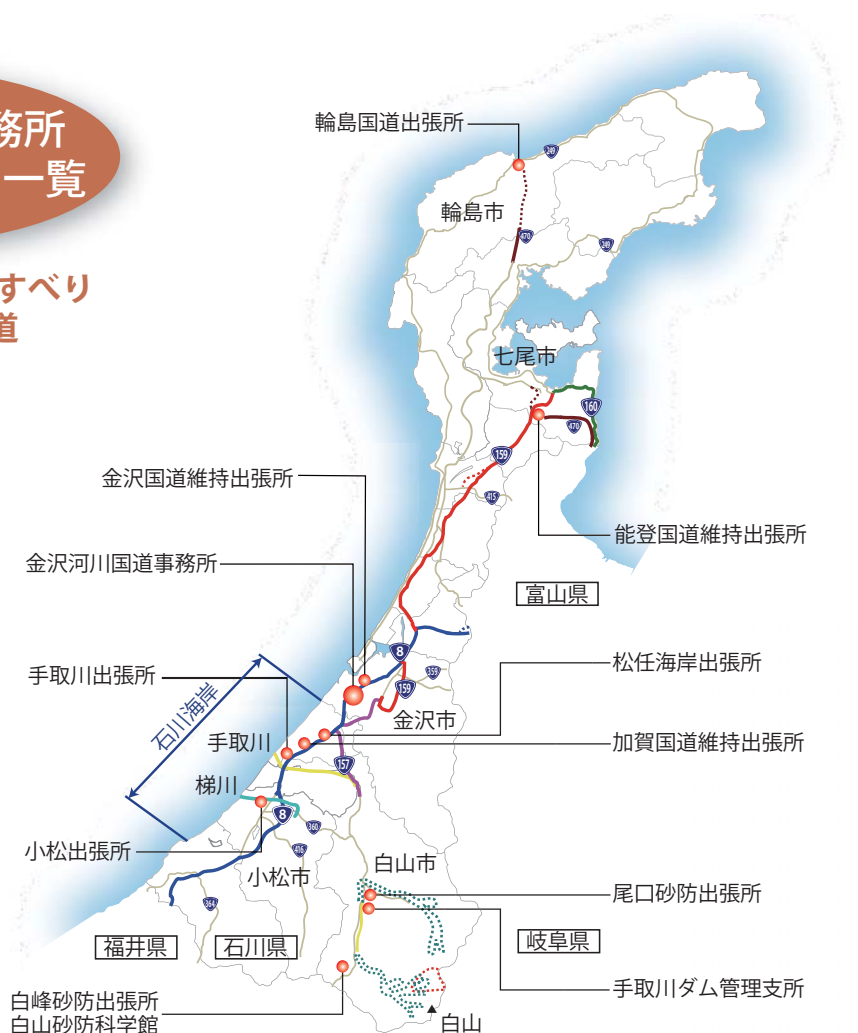


データベース

金沢河川国道事務所 管理及び整備区間一覧

一級河川、直轄砂防・地すべり
直轄海岸、直轄国道

凡 例	
■一級河川	
.....手取川（手取川ダム含む）	
.....梯川	
■直轄砂防・地すべり	
.....直轄砂防指定地	
.....直轄地すべり指定地	
■直轄海岸	
.....石川海岸（松任・美川・根上・小松・片山津工区）	
■直轄国道	
.....国道8号	
.....国道157号	
.....国道159号	
.....国道160号	
.....国道470号	



一級河川

(単位:km)

河川名	担当出張所	手取川出張所	手取川ダム管理支所	小松出張所
手取川（手取川ダム区間含む）		17.3	20.0（支川含む）	—
梯川		—	—	12.2

直轄砂防・地すべり

(箇所)

直轄砂防指定地	流域名	牛首川					
	河川名	牛首川	甚之助谷	別当谷	柳谷	赤谷	湯ノ谷
	流域名	尾添川					
	河川名	尾添川	オメナシ沢	蛇谷	中ノ川	湯谷	
直轄地すべり指定地	流域名	牛首川					
	河川名	甚之助谷					

直轄海岸

(単位:m)

直轄海岸施行区域	松任工区	美川工区	根上工区	小松工区	片山津工区	合計
区域延長	4,758	2,805	2,090	5,540	2,325	17,518

直轄国道

(単位:km)

路線名	担当出張所	加賀国道維持出張所	能登国道維持出張所	金沢国道維持出張所	合計
国道8号		49	—	29	78
国道157号		16	—	5	21
国道159号		—	48	15	63
国道160号		—	19	—	19
国道470号		—	20	—	20
合計		65	87	49	201

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所



国道470号(輪島道路)
輪島国道出張所
 〒928-0079 輪島市鳳至町畠田99-3
 TEL (0768) 22-1550

国道159・160・470号(穴水道路・七尾氷見道路)
能登国道維持出張所
 〒926-0033 七尾市千野町に部28番地
 TEL (0767) 57-0778

国道8・157・159号
金沢国道維持出張所
 〒920-0064 金沢市南新保町ト103-3
 TEL (076) 238-5071

手取川
手取川出張所
 〒929-0235 白山市美川永代町甲54
 TEL (076) 278-2152

梯川
小松出張所
 〒923-0002 小松市小島町ヲ27-2
 TEL (0761) 23-4000

牛首川流域
白峰砂防出張所
 〒920-2501 白山市白峰ツ40番地1
 TEL (076) 259-2890
 白山に学ぶ砂防と防災情報に関して
白山砂防科学館
 TEL (076) 259-2990

石川海岸
松任海岸出張所
 〒924-0882 白山市八ツ矢町554
 TEL (076) 275-0982

国道8・157号
加賀国道維持出張所
 〒924-0032 白山市村井町3
 TEL (076) 276-0797

尾添川流域
尾口砂防出張所
 〒920-2331 白山市瀬戸ワ21
 TEL (076) 256-7004

手取川ダム
手取川ダム管理支所
 〒920-2335 白山市女原ノ18-1
 TEL (076) 256-7310

平成30年度 金沢河川国道事務所 事業概要 夢職人～石川の礎を築く～

●発行／国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所
 〒920-8648 金沢市西念4丁目23番5号
 (076) 264-8800 (代表)

総務課 (076)264-8803	工務第一課 (076)264-8547	調査第二課 (076)264-9912	道路管理第一課 (076)264-9917
経理課 (076)264-8853	工務第二課 (076)264-8575	流域対策課 (076)264-9913	道路管理第二課 (076)264-9918
用地第一課 (076)264-8894	品質確保課 (076)264-8579	海岸課 (076)264-9915	防災課 (076)264-9921
用地第二課 (076)264-8523	調査第一課 (076)264-9910	河川管理課 (076)264-9916	

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>

■ご意見・ご感想をお待ちしています。お電話またはホームページからどうぞ。